

2006年度（平成18年度）第4回常務理事会記録

日時：2006年（平成18年）9月9日（土）11:00~13:35

場所：八重洲倶楽部第9会議室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、古川智絵（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2006年（平成18年）度第3回常務理事会記録、同摘録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員 2,152名 平成18年9月5日現在）

平成18年6月分（入会者 正会員2名、学生1名、退会者 正会員11名）

平成18年7月分（入会者 正会員3名、退会者 正会員4名）

平成18年8月分（入会者 正会員3名、退会者 正会員1名）

（2）学会宛文書

①通知・依頼 日本医学会より「平成18年度日本医学会分科会助成費の交付について」他12箇所より23件の通知・依頼が届いている。

②書籍、定期通信他 4箇所より4件の定期通信他が届いている。

（3）「解剖学用語（用語委員会原案）」のHP公開について

解剖学用語委員会 坂井建雄委員長より「解剖学用語 改訂13版」の出版に先立ち、委員会原案をウェブ上で公開し学会員の意見・指摘を受け付けたい旨の連絡があった。なお、公開部分は出版社との契約上、日本語部分のみであり、2006年9月1日~10月31日の期間である。

（4）「公益法人の設立許可及び指導監督基準」及び「特別の法律により設立されている民間法人の運営に関する指導基準」等の一部改正について（通知）

文部科学省より標記の通知が届いた。内容は「所管する官庁の出身者」の定義の厳格化等の改正である。

（5）日本学術会議について（この項は廣川理事長よりの報告）

日本学術会議で、会員と連携会員からなり、形態学分野でボトムアップの意見を集める組織として、「形態・細胞生物医科学分科会」が正式に発足することになった。

（6）日本医学会分科会助成費

従来、日本医学会より分科会助成費として毎年20万円が配分されていたが、平成19年度よりそれを改め、全額を一括して日本医学会の活動に使うとの通知があった。

2. 編集報告（柴田編集担当理事）

（1）解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

両誌の81巻3号が予定どおり発刊された旨、報告があった。

（2）「メディカルオンライン」について

（株）メテオインターゲートより、「メディカルオンライン」に参画し、学会誌等を電子化することについての提案があった。常務理事会としては前向きに進め、また、日本解剖学文献集と解剖学雑誌の全国学術集会抄録号の電子化の提案については更に検討を重ねることになった。

（3）A S I の電子ジャーナル化

ブラックウェル出版より電子ジャーナル化についての見積書が届いた。この件に関しては継続審議とし、理事会においても意見を出していただくことになった。

（4）第111回日本解剖学会総会・全国学術集会要旨集発行証明書

山の手合同国際特許事務所より特許との関係で、標記の要旨集の発行日を証明する書面を送付するよう依頼があった。従来から抄録号には発行日の記載がはいつていなかったが、今後はISSN番号と発行日を入れるよう、会頭に依頼することになった。

（5）平成19年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募（通知）

文部科学省より標記の通知が届き、例年通り申請をおこなうことが決定された。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

（1）平成18年度技術士資格試験

一級解剖技術士申請が一件、二級解剖組織技術士申請が一件あったことが報告された。なお、一級解剖技術士審査については、9月16日に技術士認定委員会による試験が行われる予定である。

（2）2007（平成19）年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

標記総会・全国学術集会の準備状況について報告があった。

（3）2010（平成22）年度日本解剖学会総会・全国学術集会開催校募集

標記の募集記事を6月発行の解剖学雑誌に掲載した事が報告された。

（4）その他

①IFAAのNews Letter Plexus 2006年6月号について

②日本医学会からのアンケート：今後の検討事項に関するアンケートについて報告がおこなわれた。

4. 会計報告（澤田会計担当理事）

（1）平成18年度中間決算書

標記について報告があった。

（2）平成18年度日本医学会分科会助成費の交付

標記の助成費20万円の交付について連絡があったことが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 平成18年度補正予算案

標記補正予算案が提出され、承認された。

2. 新役員選挙

平成19-20年度役員選挙日程等の概要に関し提案があり、承認された。

3. 少量核燃料物質の安全管理用マニュアル（ウラン規制）（案）について

標記マニュアル（案）と学会員への広報に関する確認がおこなわれた。

4. 第5回A P I C A

イランから正式に2008年の第5回A P I C Aを開催したいとの通知が届き、関係国の承諾も取れたので、正式な受理通知が出されたとの報告があり、承認された。

5. 非学会員からの問い合わせについて

非学会員からの解剖に関する問い合わせが事務局に多数届いている。学会としては、マスコミや団体からの場合のみ対処し、個人の場合には基本的には対応しないとする方針が決定された。

6. 学会員のメールアドレス等会員情報管理について

会員のメールアドレス（会員情報）の管理についてのガイドライン（案）が提案され、承認された。

7. 教授就任による学術評議員申請書のHP掲載

標記申請書はHPには掲載するが、直接のリンクは張らず、支部長あるいは事務局に連絡があった後にアドレスを通知し、ダウンロードできるようにすることが決定された。

8. 慈恵医大無資格解剖について

新聞の報道等に基づく状況説明の後、解剖学会としての対応について、引き続きおこなわれる理事会で決定するとされた。

9. マスコミ対応について

標記について審議がおこなわれた。

10. 次回常務理事会、理事会の開催日程

次回の常務理事会は12月16日（土）に開催することが決定された。また、理事会については、本年度第3回は文書により実施することを理事会に提案することになった。